

## 2 授業について

### 1) 授業の進め方

日本の高校生は、「教科書に従って、その内容を覚える授業」が多い反面、教具の活用、生徒個人の調べや生徒同士の話し合いの授業が米中韓に比べて少ない。

日中韓3か国の高校生は、いずれも教科書中心的な授業が多いと感じている。特に中国では、「教科書に従って、その内容を覚える授業」に対し、「ほとんどそうだ」と回答した者の割合が5割を超えている。日本は中国に次いで高い。「ほとんどそうだ」と「半分以上はそうだ」を合わせてみると、日本と中国ともに9割強となっている(図2-1)。

「問題集でたくさん練習する授業」について、「ほとんどそうだ」「半分以上はそうだ」と回答した者の割合は、中国が日米韓を大きく上回った。「ほとんどそうではない」の割合は、韓国が最も高かった(図2-2)。

一方、「教科書以外の本、模型、現物など、いろいろな教材や教具を使って教える授業」「タブレット、電子黒板、実物投影機・DVD動画・プレゼンテーションソフトなどを活用する授業」「学校外での見学や体験をする授業」について、「ほとんどそうだ」「半分以上はそうだ」と回答した者の割合も、中国が4か国の中で最も高い。これに対し、日本はいずれの設問に対する回答が最も低くなっている(図2-3)。

また、「個人で調べたり、まとめたり、発表する授業」「グループで課題を決め、考えたり調べたりする授業」についても、「ほとんどそうだ」「半分以上はそうだ」と回答した者の割合は、日本が米中韓を大きく下回っている。

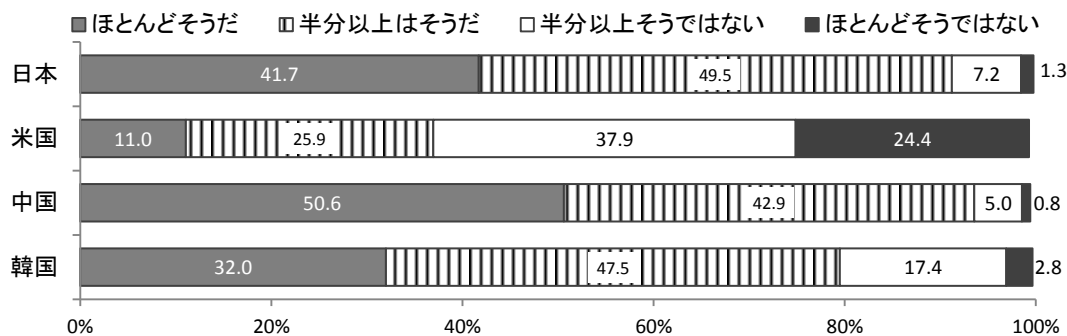


図2-1 教科書に従って、その内容を覚える授業

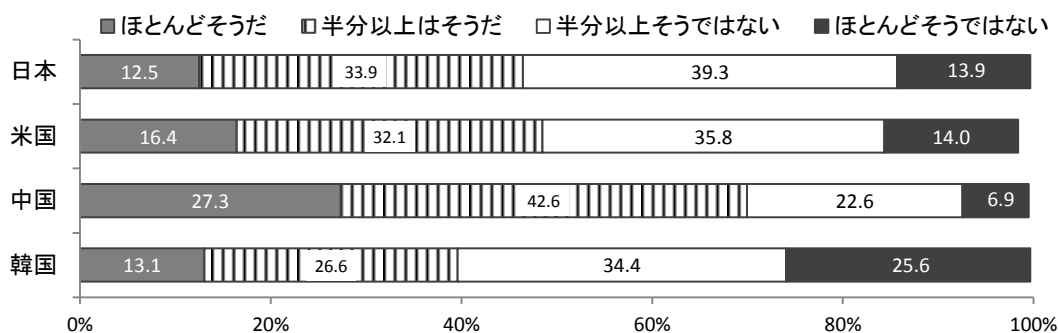


図2-2 問題集でたくさん練習する授業

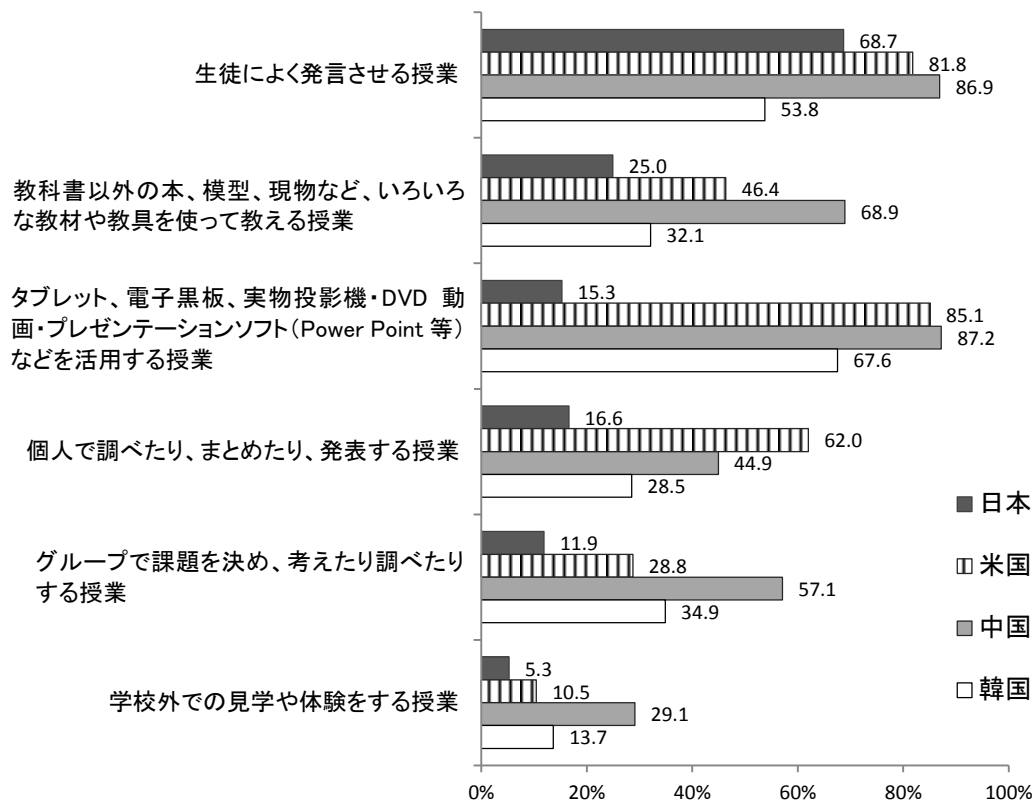


図 2-3 授業の進め方(「ほとんどそうだ」「半分以上はそうだ」と回答した者の割合)

## 2) 授業中の態度や行動

日本の高校生は、「授業中、きちんとノートをとる」が多く、発言やグループワークへの参加には消極的である。また、「授業中、居眠りをする」がほかの3か国に比べて多い。

授業中の態度や行為、また授業に関連して行っていることについて、9項目を挙げ、「よくある」「ときどきある」「あまりない」「全くない」の4段階で答えてもらった(図2-4)。

日本は、「授業中、きちんとノートをとる」に対し、「よくある」と回答した者の割合が8割弱と、4か国の中では最も高い。しかし、「グループワークの時には積極的に参加する」「授業中、積極的に発言する」に対し、「よくある」と回答した者の割合が、米中韓を大きく下回っている。一方、「授業中、居眠りをする」の割合が15.0%で、米中韓に比べて高い。「授業中、ボーッとしている」の割合も15.8%で、米国に次いで高い。

米国は、「グループワークの時には積極的に参加する」と回答した者の割合が7割弱と、群を抜いて高い。「出された宿題をきちんとする」の割合も7割弱で、中国に次いで高い。一方、「授業中、勉強以外の本を読む」「授業中、ボーッとしている」「授業中、携帯電話やスマートフォンを見たり、メールの送受信をする」の割合が1割以上となっていて、日中韓に比べて高い。

中国は、「出された宿題をきちんとする」「授業中、先生の話をよく聞く」について、「よくある」と回答した者の割合がそれぞれ71.2%と64.0%で、4か国中最も高い。「授業中、きちんとノートをとる」の割合も7割弱で、日本に次いで高い。「授業中、積極的に発言する」が2割弱で、ほ

かの3か国に比べて高い。

韓国は、「授業中、先生の話をよく聞く」「グループワークの時には積極的に参加する」について、「よくある」と回答した者の割合が6割弱で、4か国の中では2番目とやや高いが、「授業中、きちんとノートをとる」の割合が日米中に比べて低い。一方、「授業中、勉強以外の本を読む」が米国に次いで高い。

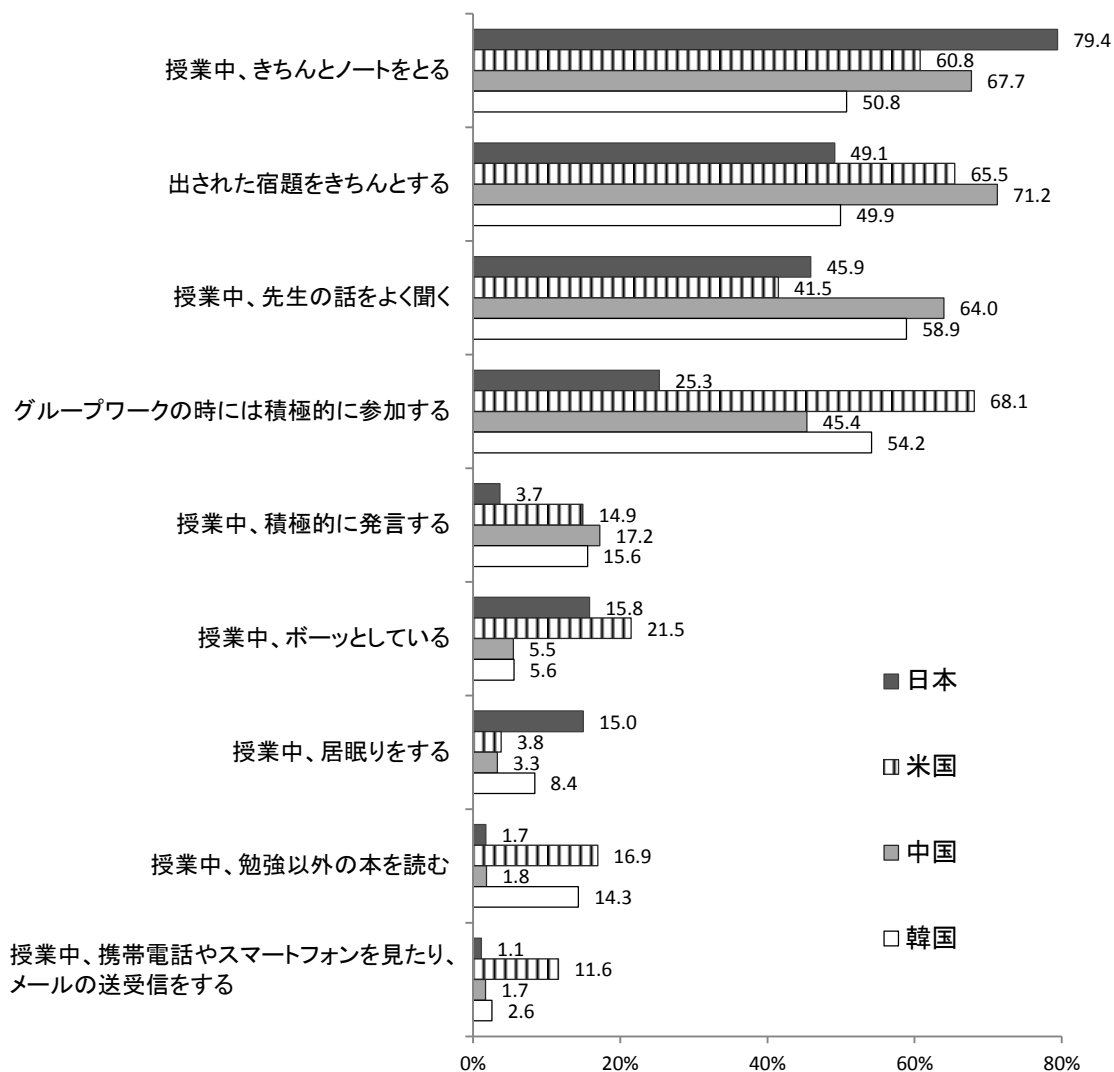


図 2-4 ふだんの勉強で、上記のようなことがどのくらいあるか(「よくある」と答えた割合)

また、「予習、復習をする」と回答した者の割合(「よくある」と回答した者の割合、以下同様)は、中国 32.3%、米国 27.7%、韓国 14.8%、日本 12.1%と、日本が最も低い。「家で、誰かに言われなくても自分から勉強する」の割合は、米国 37.9%、中国 35.0%、日本 31.7%、韓国 24.4%の順となっている。

「家で、テレビを見たり、音楽を聴きながら勉強する」や「家でスマートフォンや携帯電話などを操作しながら勉強する」について、「よくある」と回答した者の割合は、米国が最も多い(図 2-5)。

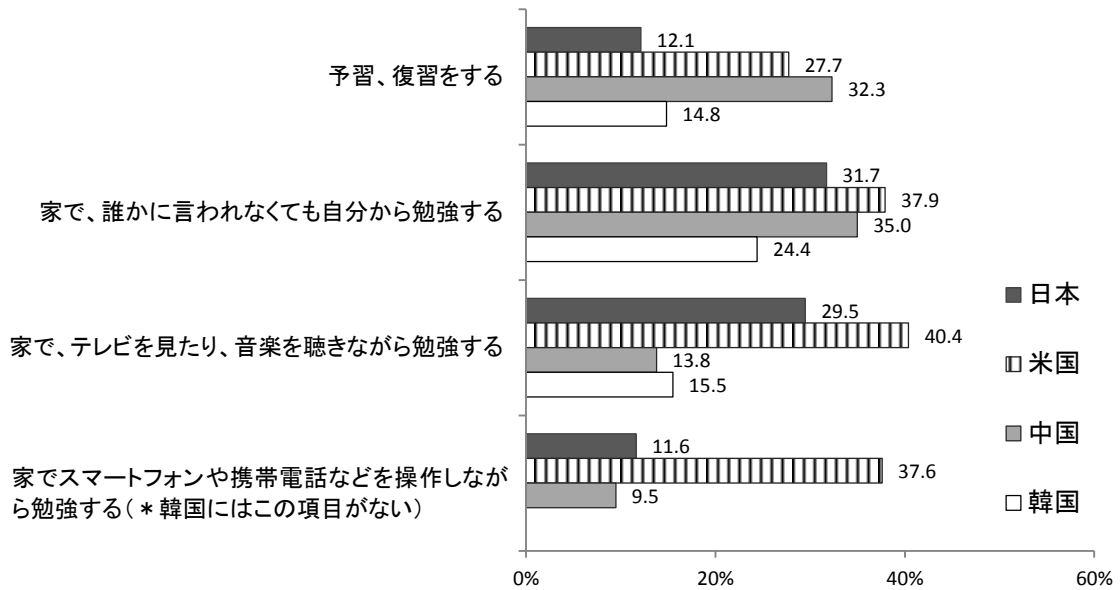


図 2-5 ふだんの勉強で、上記のようなことがどのくらいあるか(「よくある」と回答した割合)

### 3) 授業の内容がわからない場合の対処法

4か国の高校生とも「友達に聞く」が最も多い。また、米国は、「学校の先生に聞く」「ネットなどで調べる」「家族に聞く」、中国は「本や参考書などで調べる」、韓国は「塾などの先生に聞く」がそれぞれ4か国中最も多い。日本は「学校の先生に聞く」「ネットなどで調べる」が最も少ない。

「授業の内容が分からない時、どうすることが多いか」を見てみると、4か国とも「友達に聞く」が最も多い。そのほかに、米国は「学校の先生に聞く」「ネットなどで調べる」も8割を超え、4か国の中で最も高い。また「家族に聞く」も6割弱で、日中韓を大きく上回った。一方、「そのまましておく」の割合も2割弱でほかの3か国に比べて高い。中国は「本や参考書などで調べる」、韓国は「塾などの先生に聞く」がそれぞれほかの国に比べて高い。日本は、「友達に聞く」「学校の先生に聞く」「ネットなどで調べる」の割合がいずれも4か国中最も低い。「本や参考書などで調べる」も4割台にとどまり、中国と韓国を1割以上も下回っている(図2-6)。

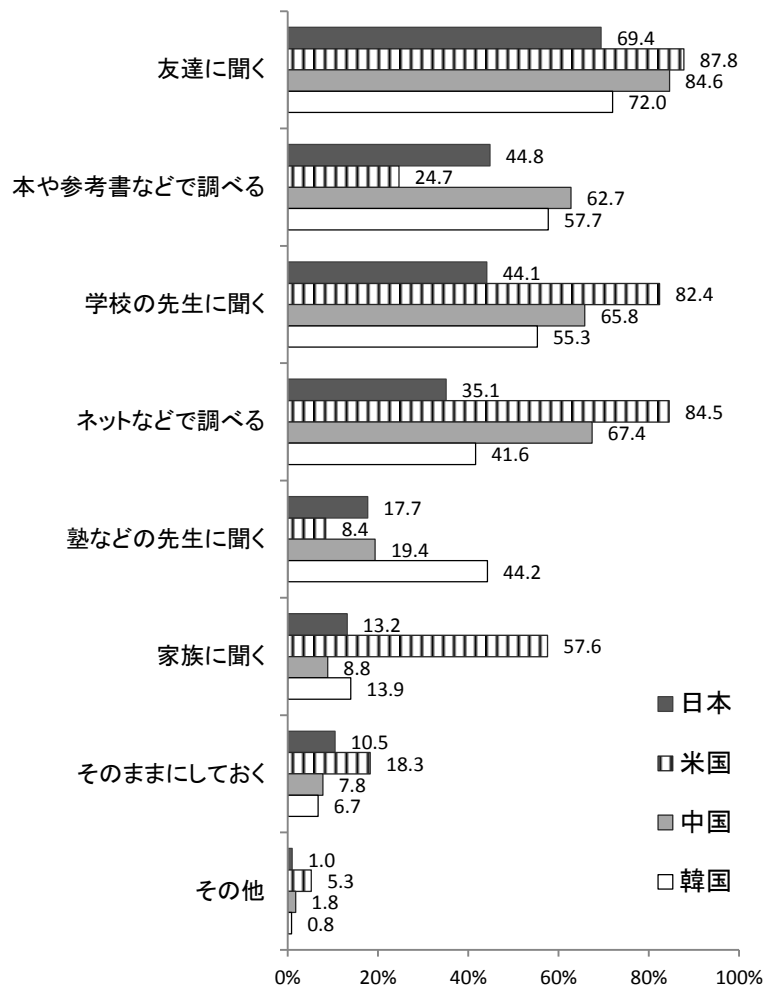


図 2-6 授業の内容がわからない時、どうすることが多いか(複数回答)